

卒業生インタビュー

Vol.3

製造業編

三浦航（みうら・わたる） Profile:

令和元年度卒業生。本校在学中は成績優秀者であり、部活動では卓球部主将を務め、文武両道を地で行った。就職後、一段と逞しくなり、卓球のスマッシュが鋭くなった。



Q.仕事の内容は？



A.タワークレーンや照明器具に使われる電線の加工・切断、出荷作業です。

Q.今の仕事を選んだ理由は？

A.社会基盤の一端を担いたかったので、社会生活に欠かせない電気の送信に使われる電線の加工をする仕事を選びました。

幸運にも、業界トップクラスの企業に就職できました。仕事をする時に怪我をしないように万全の配慮をしてくれたり、大阪での入社式に向けてサポートをしてくれたりして、ずっとこの会社で働き続けることが出来ると確信しました。

Q. 仕事でやり甲斐を感じるのは、どのような時ですか？

A. 同僚や運送会社の方に感謝された時です。同僚へのサポートや急な発注への対応が上手くいった時は、やり甲斐を感じます。

Q. 仕事で特に大変なことは何ですか？

A. 倉庫での仕事なので、夏はとても暑く、冬はとても寒いので、体調管理に気を使います。あと、月に1回ある輸入した電線の入庫作業は、とてもとても大変です。1回で24トン以上入庫するため、疲労感が桁違いです。



Q. この仕事に向いているのは、どのような人ですか？



A.体力、協調性、コミュニケーション能力がある人です。倉庫作業での体力、同僚と協力する協調性、運送会社や出入り業者の方に対するコミュニケーション能力が必要です。

事務作業も少しあるので、机に向かうことが苦手な人は辛いかもしれません。

Q.1日の流れは？

A.就業時間は8:30~17:15ですが、早朝の出荷便の準備のため自主的に7:45には入社しています。昼休憩は1時間しっかり取れて終業15分前には片付けを始められます。残業はほとんどなく、ホワイト企業だと思います！

Q.足立東で学んだことは何ですか？

A.目上の方への丁寧な言葉遣いは、先生方との会話で自然と身に付きました！

それと、自分から意欲的に動けるようになりました。これは、熱意を持って意思表示すれば応えてくれる先生や同級生がいたからだと思います。



Q.足立東はどのような学校ですか？

A.小・中学校でつまづいてしまった勉強をしっかりとやり直すことができます。それに加えて漢字検定合格など、生徒個人の希望を叶えるために放課後の勉強に付き合ってくれる先生がいらっしゃいました。

Q.足立東に向いているのは、どのような人ですか？

A.他の学校に比べて生活指導が厳しいと思うので、そういったことがちゃんとできる人や落ち着いた環境で高校生活を送りたい人が向いています。

Q.在学中一番の思い出は何ですか？

A.沖縄での修学旅行です！戦争体験談と沖縄の雰囲気がとても印象的でした。

戦争体験談は語り部の方のお話を伺い、戦争の悲惨さを感じました。

また、高校生活を共にした同級生とまわった綺麗な海や、美ら海水族館、街の景色も強く記憶に残っています。



Q.卒業後、同級生との交流に変化はありましたか？

A.コロナ禍での卒業だったので、しばらくの間は直接会うことはありませんでした。しかし、同じ趣味をもつ友人とは連絡を取り合っていましたし、行動制限が解除されてからは卓球部の練習にも顔を出しています。足立東で気の合う仲間に巡り合えました！



Q.最後に、後輩に向けてメッセージをお願いします！

A.皆さんの人生はまだ前半のさらに前半！
人生はとても長いです！皆さんのこれからの人生で情熱を捧げられることを見つけ、その道に進めることを祈っています！